

## 第6次総合計画の基本理念・10年後のまちの姿

### 1. 基本理念（まちづくりの基本理念）

#### ◆6次総の基本理念

「みんなの声がひびくまち」から20年、「みんなの声が活きるまち」から10年、本町が将来にわたって「持続可能」な地域社会を維持していくためには、これまでの取り組みを更に一歩進め、町民が主体的にまちづくりを進めていくことが必要です。まちづくりの主役である町民一人ひとりが自立し、支え合いながら、様々な場面で主体的に力を発揮し、より良い本町を次世代に継承する「持続可能」なまちの発展を目指し、

### 「みんなが主役のまちづくり」

を基本理念とします。

### 2. 10年後のまちの姿

#### ◆6次総の「10年後のまちの姿」

まちづくりの基本理念にもとづき、町民と行政が共有できる将来像として10年後の町の姿を定めます。いつの時代においても、私たちには変えてはならないもの、変わらずに守り育てていかなければならないものがあります。それは、一朝一夕にはつくり出すことのできない「水」と「緑」、そして「人と人とのつながり」です。

私たちは、この豊かな自然のなかに暮らしながら、ふれあい、支え合い、助け合い、そこから生み出される賑わいと活力により、将来にわたって持続的に発展できる、就業や暮らしの場がバランス良く整ったまちを展望し、

「人と自然が織りなす、輝くまち - 豊かな自然環境と共存しながら 緩やかに発展し続ける職住のバランスのとれたまち -」を目指します。

また、10年後のまちの姿を実現するために、「人がつながるまちづくり」、「人を育むまちづくり」、「暮らしを支えるまちづくり」、「安全・安心のまちづくり」の4つの基本目標を設定しました。



将来像

### 人と自然が織りなす、輝くまち

— 豊かな自然環境と共存しながら 緩やかに発展し続ける職住のバランスのとれたまち —